

村崎(光星)6位入賞

少年男子
1万円



【スピード少年男子1万円決勝】6位入賞を果たした村崎(八学光星)＝長野市エムウエーブ

山本(八西)転倒響き10位

スピード

長野市エムウエーブ

第72回 スケート 長野国体

第3日

第72回国民体育大会冬季大会「ながの銀鑽国体」のスケート・アイスホッケー競技は第3日の29日、長野県で3競技を行った。県勢はスピード少年男子1万円が村崎翔太(八学光星)が6位入賞、インターハイ同種目王者の山本大史(八戸西)は転倒が響き10位だった。成年女子

3000級の澤尻麗里英(八戸学院大)は1500級に続き決勝へ進出した。アイスホッケーは少年男子が準々決勝で前回2位の埼玉と対戦。4人で戦いを制し、2年ぶり4強入りした。成年男子も準々決勝で茨城を4-2で破り、準決勝に進んだ。第4日の30日、県勢はスピードの決勝2種目を含む7種目に出場。アイスホッケーは成年男子が前回覇者の東京と少年男子が栃木との準決勝に臨む。ショートトラックは成年女子1000級予選に西山夢乃(八戸西出)・神奈川大が出場する。(本田海輝、松田啓志)

「根性でついていった」村崎

「速いラップタイムについていけずきつかったが、最後まで滑り切れたよかった。少年男子1万円の村崎(八学光星)は6位入賞、前回9位に終わった。悔しさを晴らし納得の表情だった。前回から1年がたち、「大会にならず焦りから水をこぼさ

ることができていなかったが、今回は余裕ができてしっかり滑れるようになった」という。その言葉通り、格上の選手がその中で自分の力を最大限発揮。「しんどかったけど、根性でついていった」と先頭集団に食らい付いた末の好成績に、少年男子の尾崎監督も「できる限りの

レースをした」と手放しでほめた。それでも、今回の入賞は上位陣の転倒による影響もあったため、村崎は「来年はもっと成長して、アクションがなくても自分の力で順位を上げられるように頑張りたい」と飛躍を誓った。(本田海輝)



【スピード成年女子3000級予選1組】1500級に続き決勝へ進んだ澤尻(八戸学院大)

澤尻、決勝へ進出

○：成年女子3000級の澤尻(八戸学院大)は、1500級に続き決勝へ進出。

勝へ進出し、「滑りは悪くないがシーズン後半で疲れがある。気持ちで乗り切りたい」と意気込んでいる。

北海道の白樺学園からは北海道代表として臨んだ少年女子3000級で4位と実績があり、「疲れていても動く」という脚を武器に上位を狙う。

- 日本 35秒7.3
- ▽少年女子500級決勝 ①熊谷(岩手・盛岡三高)40秒7.8
- ②川北(北海道・帯広三寒恵)40秒
- ③高野(北海道・池田西)41秒
- ④成年女子500級決勝 ①藤原(新潟・新潟大)38秒
- ②大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8
- ③大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8
- ④大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8
- ⑤大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8
- ⑥大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8
- ⑦大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8
- ⑧大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8
- ⑨大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8
- ⑩大田(北海道・帯広三寒恵)38秒1.8